

# 大学自己評価部会だより

第61号 (平成31年1月)

## カリキュラム・ポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考え方を示したものです。

- (1) 高度の専門性を習得することを目的に、所属分野の講義・演習を実施させる
- (2) 包括的な生命科学および臨床の知識と技術を習得することを目的に、専門領域の枠を超えて講義・演習を実施させる
- (3) 生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論に関する講義・演習を実施させる
- (4) 歯科臨床および研究に応用することを目的に、医工学と連携した講義・演習を実施させる
- (5) 英語を用いた講義・演習を充実させる
- (6) 国際性の向上のため、外国語によるプレゼンテーションや論文作成能力を養成する講義・演習を実施させる
- (7) 学内外を問わず高度な研究能力を有する専門家を招聘し、講義・演習を充実させる
- (8) 海外の大学への短期間研究留学を経験するための実習を充実させる

## アンケート調査結果を報告します

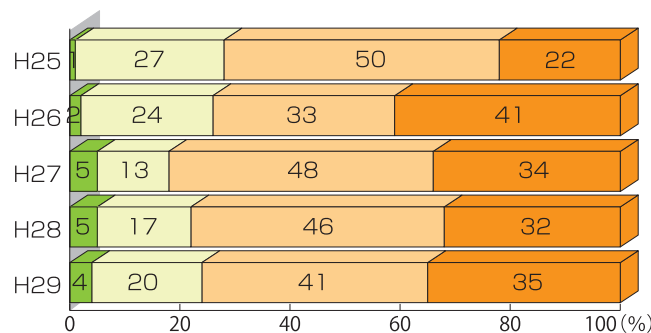
大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成25～29年度の5年間を比較しました。

### ① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では毎年講義内容の見直しを行い講義・実習の充実を図っています。80%近い学生が「高い」「少し高い」満足度を感じています。選択科目では他大学との連携科目も好評でした。



主科目に対する満足度



副科目・選択科目に対する満足度

